



めざす姿

県民サービスが変わる！

- 誰もが、いつでも、どこからでもスマートフォン等で簡単に行政手続きができるとともに、県・市町等が保有するデータが連携・活用され、データに基づく政策立案や新しい行政サービス等が創出

仕事の進め方が変わる！

- デジタルコミュニケーションの促進や業務プロセスの改革により、あらゆる作業が迅速化し生産性が向上、結果的にペーパーレスが実現しオフィス環境も向上

職員の働き方が変わる！

- 全職員がモバイル型ノートパソコンを持ち、県庁、自宅、出張先など、場所と時間を選ばず仕事ができるようになり、高いレベルでワーク・ライフ・バランスが実現

7つの重点項目

前提

R4~8

A 人材の確保・育成

- 各部署でDXの取組をリードするコア人材の確保と育成
- 全職員の意識変革とリスクリソングの実施

R4：基盤整備
R5~9：運用

B DX推進基盤の整備

- 統合コミュニケーションツールの導入およびデータ連携基盤の整備など、クラウドサービスへのシフトとそれを可能とするセキュリティ対策の実施
- 全ての一人一台パソコンのモバイル化と在宅勤務・モバイルワーク等の対応（職員個人への紐付け）

サービスのDX

重点：R4~6で100%
その他：R8までに順次デジタル化

C 行政手続きのデジタル化

- 電子申請システムの電子署名、公金収納対応
- 行政手続き（申請受付）のデジタル化に向け内部事務の業務プロセス改革
- わかりやすいUI・UXの実装とデジタルが苦手な方へのサポート体制の構築

R4：データ活用方針策定、
R5~7：実証実験、R8～：本格運用

D データ連携・利活用

- 庁内および市町の保有データ調査
- データ連携・利活用にかかる実証実験の実施
- オープンデータの推進

組織のDX

R4~8

E デジタルコミュニケーションの推進

- 統合コミュニケーションツールによる情報収集・共有・発信および意思決定の推進
- 会議等での配布資料、手持資料、決裁文書のデジタル化

R4~8

G 働き方改革の推進

- 在宅勤務・モバイルワーク等が当たり前ができる基盤（制度）の整備とマインドの醸成

R4~8

F 業務プロセス改革の推進

- 行政手続き（申請受付）のデジタル化に向け内部事務の業務プロセス改革（再掲）
- 多くの職員が関わる業務の業務プロセス改革